

山菜・キノコ採りの生態系サービスをはかる

松浦 俊也 (まつうら としや、森林総合研究所)

はじめに

山菜・キノコ採りは、都市近郊から山村まで、古くから多くの人々に親しまれています。美しい写真とともに採り方や食べ方を記した図鑑類も多く、季節感に富む趣味としても定着しています。このように、山菜・キノコ採りは身近な自然がもたらす恵み(生態系サービス)のひとつです。とくに、ブナ林などの広がる東北・北陸地方では山菜・キノコの生産量が多く、生業にしてきた集落もあります。個々の地域住民の日常的な採取の実態を観察・記録した研究は、これまでもいくつか行われています(例えば、池谷 2004; 齋藤 2006)。しかし、ある地域における採取活動の全体像や、種ごとの採取環境条件、採取物の潜在的な経済価値などの定量的な調査はほとんど行われていませんでした。

そこで本稿では、山菜・キノコ採りの盛んな福島県南会津郡只見町・檜枝岐村において、質問紙調査(アンケート)やGPSと採取日誌の分析を通じて山菜・キノコ採りの生態系サービスの大きさや特徴の定量化を試みた調査研究の一端を紹介します。この調査は、人工林化や森林への人的管理の低下が生態系サービスに与える影響を評価する手法の開発を目的とした研究プロジェクト(環境省地球環境総合推進費:E-0801)の一環として行われました。

質問紙調査

いくつかの集落の全戸を対象に、よく採る山菜・キノコの種類、時期ごとの採取頻度、採取物の用途などに関する質問紙調査を行いました。その結果、個人差はあるものの、雪解け後の山菜採りや秋のキノコ採りのピーク時には平均で週に1~2回と高頻度に山に入り、様々な山菜・キノコ(それぞれ10数種類)を採取している様子が捉えられました。

GPSと採取日誌

山菜・キノコ採りでは個々人がめいめいに山の中を歩くので、ある地域における採取活動の全体像を地理的に捉えるには工夫が必要です。近年、GPSロガーの小型・高精度化が進み操作が容易になり、電子機器の操作に不慣れな高齢者を含む多くの人々の行動観察に使えるようになってきました。そこで、採取場所や個人情報(非公開を前提に)の協力を得られた10数名にGPSロガーを配布し、頭頂部にポケットのある専用の帽子に入れて採取時に携帯してもらいました(図-1)。また、採取時刻、種名、重量、用途(自家消費、贈答、販売)を、採取日ごとに日誌に記録してもらいました。これらを半月~1ヶ月ごとに回収し、個別に面談し、春先から晩秋までの採取活動を2年間にわたり記録しました。さらに、GPSログと日誌の時刻から採取地を同定し、GISと統計モデルを用いて、地形や植生、道路からの距離などの影響を種ごとに調べました。ここから、伐採跡地やスギ植林地などの人為攪乱地に多いワラビ、雪崩地に多いゼンマイ、溪畔域に多いクサソテツ(こごみ)、林道や沢沿いで採られるフキなど、山菜の種類により採取環境や依存する攪乱条件が異なる様子が捉えられました。また、秋のキノコ類は斜面上部や老齢広葉樹林などで多く採られていました。多雪山地の里山から奥山にかけてのモザイク状の植生を面的に利用し、季節を通して多様な山菜・キノコを採取している実態が捉えられました。

山菜・キノコ採りの経済的価値

質問紙調査と採取日誌から推定される総採取量と、直売所などでの種ごとの平均単価を掛け合わせると、

潜在的な経済価値を試算できます。自家消費や贈答分などもこの単価と同程度の価値をもつと仮定すると、2、3ヶ月間の春の山菜採りのみで、対象地の採取者ごとに平均数万円に相当する収穫が毎年ありました。地域全体でみれば、過疎・高齢化により採取量が大幅に減った現在でも、木材生産と比べて無視できない価値があると考えられます。また、質問紙調査では、山菜・キノコ採りには食材としての価値(供給サービス)と同じくらい楽しみとしての価値(文化的サービス)があると地域住民に評価されていました。両者を合わせた山菜・キノコ採りの生態系サービスはさらに大きいと考えられます。

おわりに

本稿では、ある地域における採取の現況を定量化する試みを紹介しましたが、採取活動には地域差があり、とくに過疎・高齢化が進む山村では活動は縮小傾向にあります。山菜・キノコ採りの生態系サービスを定量化するためには、地域ごとの多様性や過去からの変遷を捉える試みがさらに必要と考えています。

引用文献

- 池谷和信(2004)山菜採りの社会誌-資源利用とテリトリー. 204pp, 東北大学出版会, 仙台.
齋藤暖生(2006)岩手県沢内村における山菜・キノコ資源充足度の変動-山菜・キノコ採りの生態的側面と社会的側面-. 林業経済 59(3): 2-16.

GPSロガー(専用の帽子に入る)



図-1 GPSと採取日誌による採取活動把握